

宮崎・学生ビジネスプランコンテスト

決勝プレゼン発表者（7組）



No.1

ぺっとらべる ～手ぶらでペットとキャンピングカー旅行～

宮崎大学 工学部 環境ロボティクス学科 2年

西屋 智皓 堀田 海王

ペット旅行に行きたくても行けなかった人に、ペットに特化したアメニティを充実させたキャンピングカーを貸し出すサービス。ペットと旅行しづらい日本で飼い主、ペット共に不便なく旅行できるような空間作りをする。



No.2

サス研 | サステナビリティ研究所 ～正しい知識で地球を教え～

宮崎公立大学 人文学部 国際文化学科 4年

原 さくら

東京大学大学院 環境システム学専攻 博士後期課程 1年

渡 卓磨

我々が提案するのは、環境問題に関する「最新学術研究の解説」および「オンライン講義」の提供を中心とする総合ウェブメディアの運営ビジネスである。環境問題に関心のある学生から社会人を対象とする。現役研究者の協力のもと、ウェブコンテンツ作成から運営、SNS等を活用したマーケティングを行う。広告費および協賛費から収益を得る。



No.3

タイミンググッド ～吃音者のQOL向上プロダクト！！～

宮崎大学 農学部 応用生物科学科 2年

西迫 政人

吃音はタイミング障害である。そのタイミングをとるために苦労した経験を持つ吃音の当事者である発表者がwithコロナで世間への広がりを見せるマスクと融合させたプロダクトを吃音者に届ける！



No.4

ゴータチーズ専門工房 ～多様な味から選べるゴータチーズ屋さん～

宮崎大学 農学部 畜産草地科学科 4年

江口 和範

熟成期間によって味の変化するゴータチーズを伝統的な方法で製造した高品質、多種類の味のゴータチーズをチーズ、お酒が好きな消費者等に手軽に食べられるように販売し提供する「ゴータチーズ専門工房」を始める。チーズ文化が食卓、日本文化に溶け込めるように活動を行う。



No.5

リンク ～福祉施設の思いを繋ぎたい～

宮崎大学 工学部 電子物理工学科 2年

藤島 旺志 栗坂 明佳

宮崎公立大学 人文学部 国際文化学科 1年

今西 美澗

福祉施設向けに連絡帳アプリを用いて作業効率を上げるビジネスです。連絡帳を書く手間が省けることによってその施設の従業員が利用者と関われる時間や労働力などが確保できます。これは、人材不足の解消と施設間との連携（横のつながり）を果たす役割です。月額基本プランを設定し、各施設に応じた金額で収益を得ます。



No.6

幸福シェアハウス ～一緒に住むことから見えること～

宮崎大学 地域資源創成学部 地域資源創成学科 1年

渡部 竜弘 河野 晃輝

永松 日向 原田 佳純

社会で障害を持つ方々が健全に生きられる社会を作る為、シェアハウスを通じて就職まで含めた自立支援をお手伝いする。収益は宿泊料や企業の紹介料などから得る。



No.7

MOBILE FOOD ～災害時食のリスクを解消する～ スマホにスマート非常食

宮崎大学 農学部 応用生物科学科 4年

安藤 彩夏

近年、防災意識は高まっていますが、災害の発生は予想できず屋外で災害に合う場合もあります。今回、皆さんが持ち歩いている『スマホ』に注目し、スマホケースに収納できる携帯用非常食を提案します。日常の中に取り入れることができる非常食『MOBILE FOOD』の製造・販売を行います。